



未来の先生展 2017

サークル対話から広がる「ことば」の学び

～フレネ教育を取り入れた学びをつくる～

実践報告と参加者の話し合い

開催日時 2017年 8月 26日(土) 16:20-17:50

場 所 武蔵野大学有明キャンパス 1号館 3F 306教室

報告者 本田 祐吾

内容

お茶の水女子大学附属小学校では、幼小接続期の研究に取り組む中で、幼稚園からボトムアップになる学びを模索してきました。現在、低学年では、フレネ教育やイエナプラン教育などを手本としながら、サークル対話・計画表に基づく個別の学習・プロジェクト型の学習を中心に学びを展開しています。朝、子どもたちが登校すると、教室に輪になって座れるようベンチを並べ、思い思いの場所に陣取り、サークル対話が始まります。そこでは、生活の中で発見したことや経験したことなど、みんなに伝えたいことがある子が話します。話し終わると、分からないことやもっと知りたいことを質問し、自分の感じたことや思ったことを語り合い、聴き合います。このように、自分の思いを素直に出し、受けとめることができる関係性を大切にしています。こうしたサークル対話を大切にしながら、対話の中に表れる活動や学びの芽を広げていきます。

ここに注目！

フレネ教育やイエナプラン教育で行われているサークル対話。そのサークル対話で、どのように学びをつくることができるか。私は、フレネ教育の「Texte libre＝自由作文」の実践をベースにしています。子どもたちが語ったことを学習材とし、皆で話し手が伝えたかったことがより伝わりやすいように文章を直したり、文字や漢字を学んだりします。この学びの中で、時にはことばや文章を何通りも考えながら、話し手が伝えたかったことを的確に表現する学び＝共同推敲を行っています。1年生から2年生の2年間で、どのような学びが行われたかについて、報告したいと思います。

講演者プロフィール



本田 祐吾

お茶の水女子大学附属小学校 教諭
フレネ教育研究会会員

東京都の公立小学校を17年勤めた後、現在の勤務校へ。中学高校の6年間、自由の森学園で過ごす中で、教育に関心を持ち、公立学校での初任者の頃より、フレネ教育の実践を始める。自由作文や計画表に基づく個別学習を中心に、一人ひとりの学びに寄り添うことを大切にしながら、実践を積み重ねてきた。現在は、個別の学習と一斉の学習を対立することなく、学習に取り入れていこうと模索している。

講演者から参加者へのメッセージ

講演というよりも、この2～3年積み重ねてきた実践について紹介したいと思います。日々の積み重ねの一部を切り取って報告をすることになりますので、分からないこともあるかもしれません。その時はどんどんきいてください！

サークル対話での話題をよりよい文章に表す「共同推敲」について報告し、それをもとに参加者の皆さんと話し合い、子どもたちが主体的に学ぶということ、そしてよりよい学びを考える機会となれば幸いです。時間があつたら、サークル対話を生かしたピースフルスクールプログラムについても紹介したいと思います。また、今回はサークル対話に絞った発表になりますので、計画表や個別の学習、プロジェクト型の学習の様子については、壁面に掲示をしたいと思います。興味がある方は、ぜひご覧ください！

